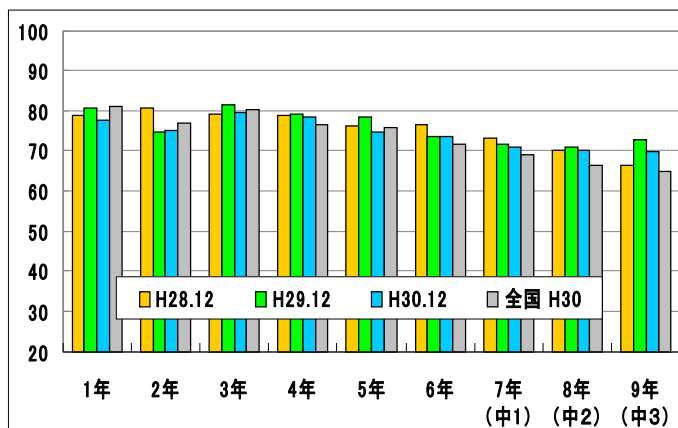


- 調査は平成 30 年 6 月と 12 月の 2 回実施し、箕面市の肯定率を全国と比較
- 回答は、「そう思う」「少しそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の 4 つから選択
- 肯定率とは、選択肢の「そう思う」と「少しそう思う」の割合を単純に合計した値

【自己認識】 箕面っ子の自己肯定感は…

家族とのかかわり

◆本当につらいことがあったとき、それを家の人のだれかに相談できますか。

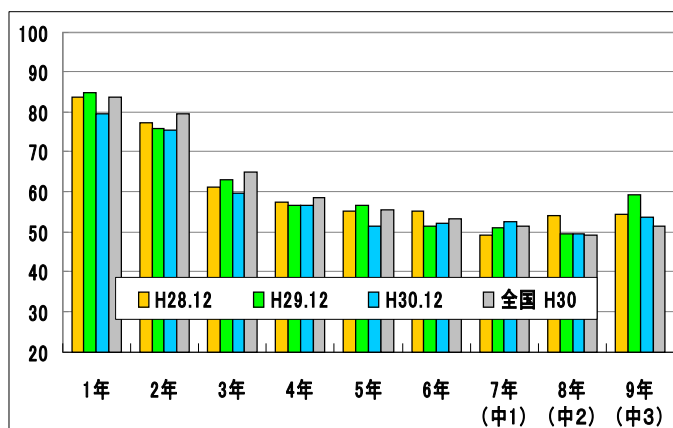


安心して相談するでござる！



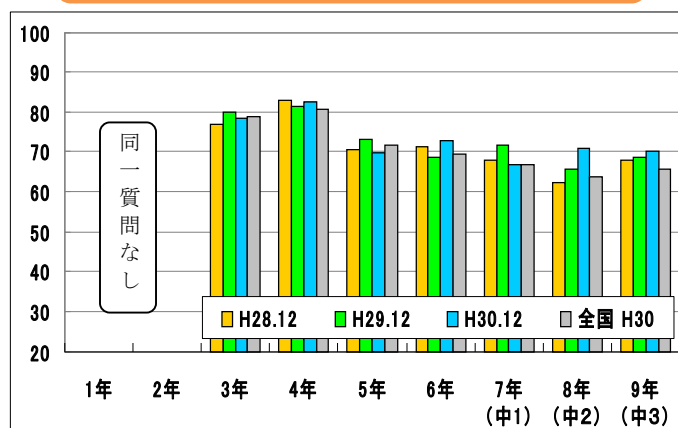
先生とのかかわり

◆本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できますか。

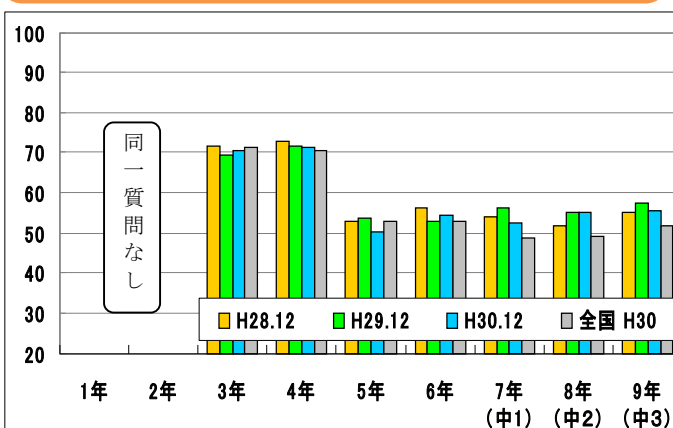


成功体験と自信

◆自分にはいいところがあると思いますか。



◆学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。



「家族や先生に相談できる」という割合は、中学生は全国平均値より家族や学校の先生に相談する割合が高く推移しています。しかし、小学校 3 年頃から年齢が高くなるにつれて下がっていく傾向にあります。また、「自分にはいいところがある」「期待されている、頼りにされている」と思っている子ども、年齢が上がるにつれて割合が下がっていく傾向がありますが、全国と比べると高く、特に 6 年生以降の学年で高くなっていることが分かります。

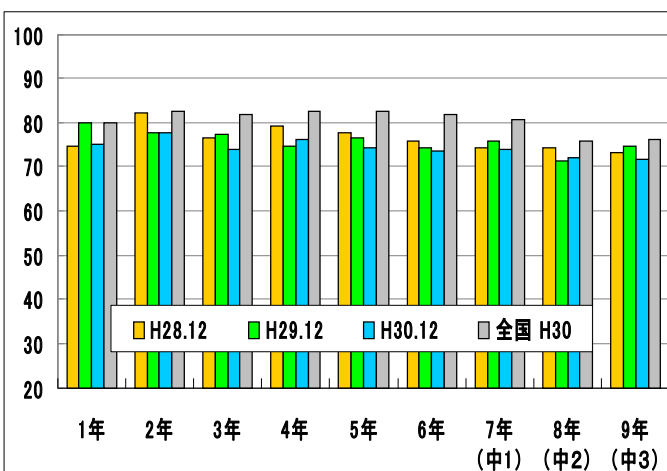
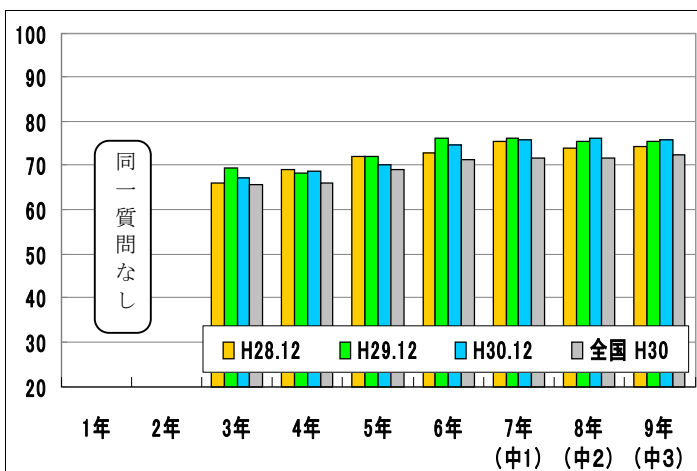
【社会性】 ソーシャルスキルは・・・

自分からすすんであいさつをしよう



◆友だちが成功したときはいっしょに喜び、失敗したときはいっしょにくやしがる、その思いを言葉やからだで伝える方ですか。

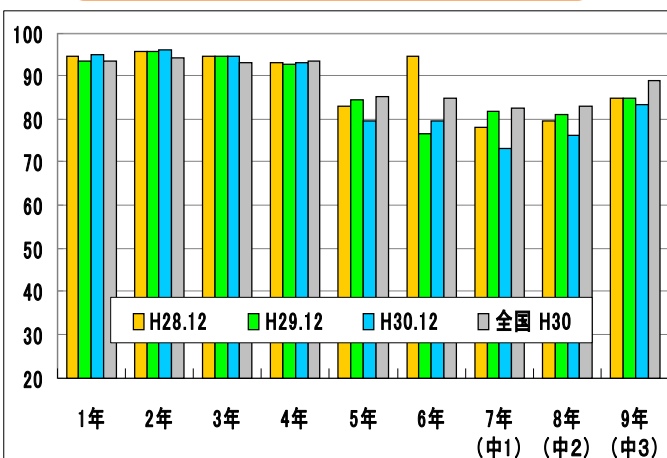
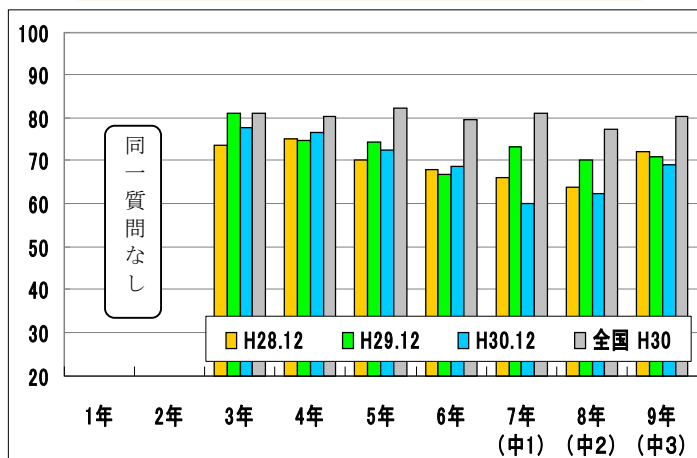
◆近所の人にあったときにはあいさつをしていますか。



【学級環境・規範意識】 学級での規範意識は・・・

◆あなたのクラスでは、みんながそうじ当番や係の仕事を、責任をもってしていますか。

◆あなたのクラスでは、みんなが先生の言うことを守っていますか。



箕面の子どもたちは、社会性における「あいさつをすること」が、ここ数年の課題として続いています。学校でのあいさつ運動やボランティア活動などを継続・活性化させながら、地域・社会ともつながりを強めていくことが重要であると考えます。

友だちと思いを共有することは、どの学年も全国に比べて高い割合です。仲間と共に喜び、励ましあいながら成長している姿がうかがえます。

「学級での役割に対する責任感」は、全国に比べると低く、先生の言うことを守る割合も小学校高学年から中学校にかけて低くなる傾向が続いています。こうしたデータを踏まえ、各学校や教員は、自分の役割をしっかりと果たすことの大切さや、ルールを守ることの意義を、児童生徒にしっかりと伝える必要があります。

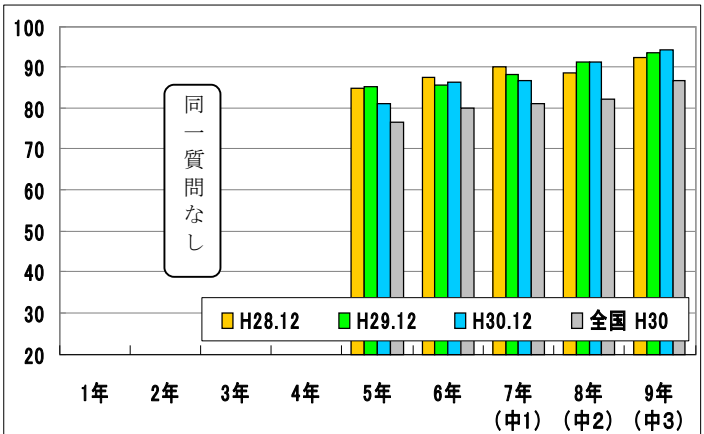
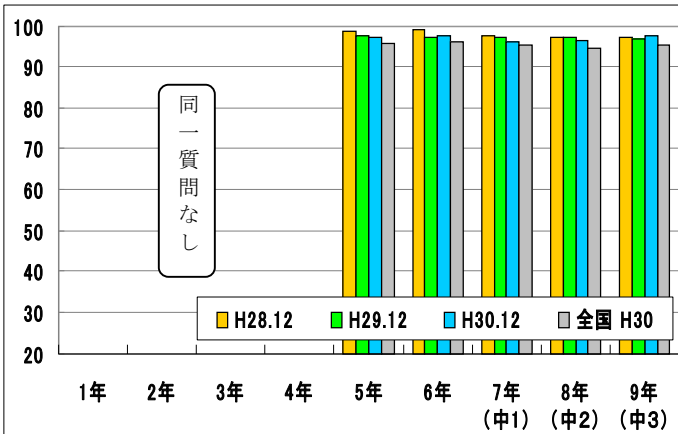
【対人ストレス】 いじめのサインは…

このグラフは、ポイントが高いほど良好なのでござる！



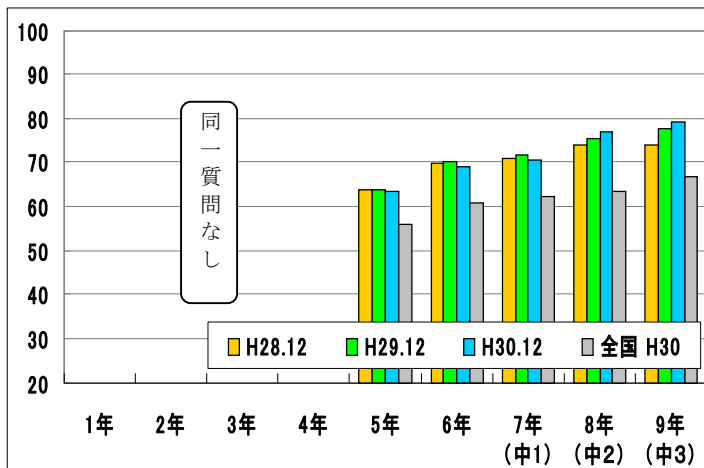
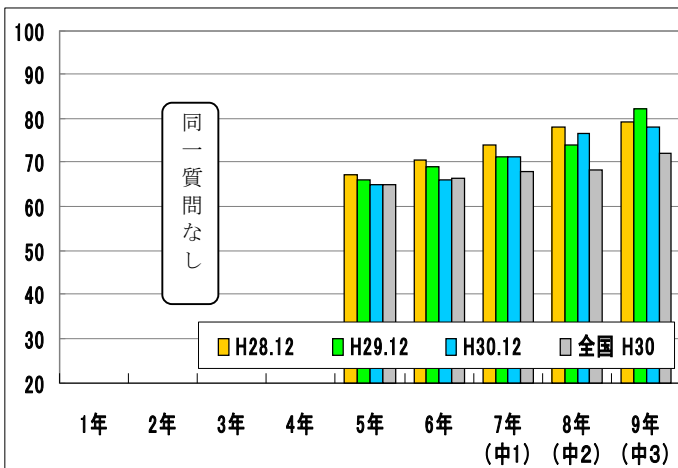
- ◆LINE やツイッター上で仲間はずれにされたり、ひどいことを書かれたりして、傷ついたことがありますか。
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合

- ◆自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることがありますか。
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



- ◆仲のいい友だちから、自分がどう思われているか、つい気になってしまうことがありますか。
⇒「気になることはない・たまにある」と回答した割合

- ◆信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。
⇒「一度もない・けんかをはしても傷つくことはない」と回答した割合



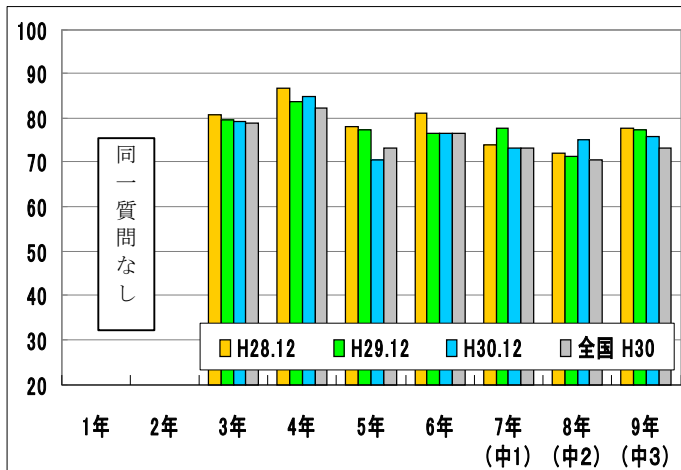
「対人ストレス」を感じていない子どもの割合は、例年、全国より高い結果がでています。但し、「LINE やツイッター上で仲間はずれにされたり、ひどいことを書かれたりして、傷ついたことがありますか」という質問は、全国とほぼ同じ水準です。各学校においては、情報モラルに関する学習や、ネットトラブルに遭わないための講習を引き続き行っていきます。それとともに、周りの大人も、子どもたちからのサインを見逃さないよう、しっかりと見守っていく必要があります。

使い方には十分注意しよう！！



【学級の絆】仲間の意識は…

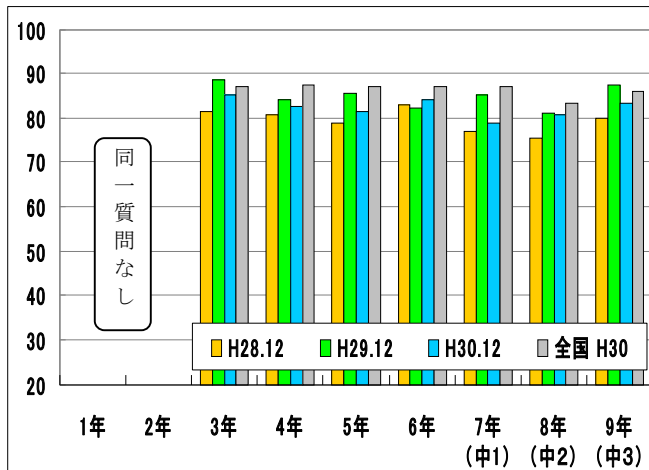
◆あなたは、クラス全員の、一人ひとりのいいところを、言葉にして言うことができますか。



クラス全員のいいところを
言えるって素敵だね！

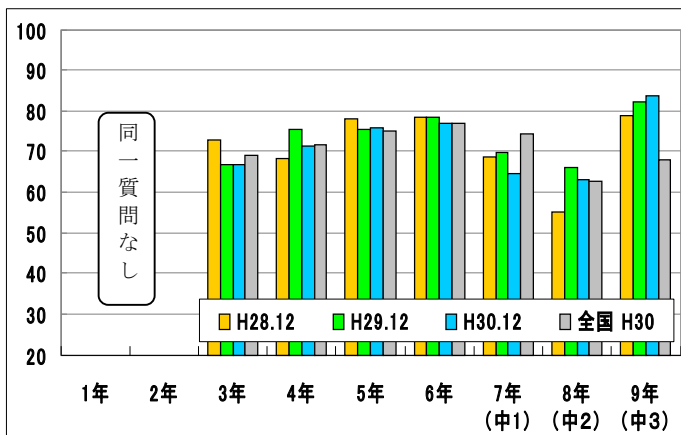


◆今のクラスが好きですか。



【学習習慣】家庭学習は…

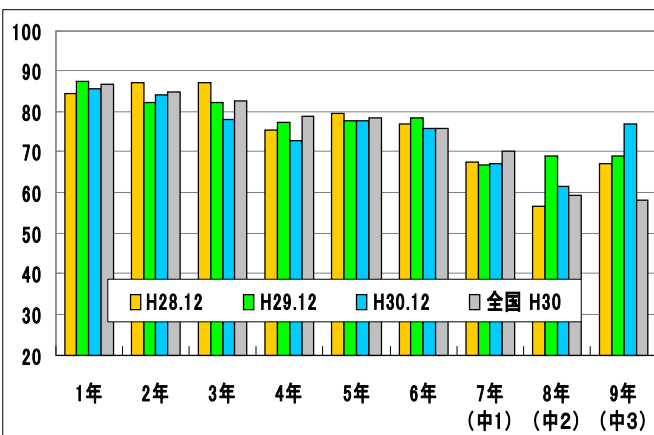
◆家で、週に何日くらい勉強しますか。
（「ほぼ毎日」と「4～5日」を合計した数）



復習をがんばろうね！



◆テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか。



「いいところを言葉にして言うことができる」という子どもの割合は、全国と比べるとおおむね上回っていますが減少傾向です。「今のクラスが好きですか」の質問は、全国と比べると下回っています。学級の絆を高めるために、日々の学習活動での学び合いや、学校行事を通して、感動や成功をクラス全員で分かち合うなどの体験を積み重ねていくことが必要です。

家庭学習の習慣は、9年（中3）になると大幅に高くなりますが、中学生になると低くなる傾向があります。小学校で身につけた学習習慣が中学校につながるように、自主学習ノートなどを活用し、自分がすべき課題に気づき、ついた力を認識し、次の学習課題をたてる経験を小学校の段階から積み重ねておくことが大切です。



各校では、成果と課題を明確にして、取組を検証し指導に活かしていきます。

【箕面っ子の自己肯定感】

- 「家の人に相談できる」「先生に相談できる」と感じている人の割合は、学年が上がるにしたがって減少傾向ではあるものの、中学生は全国よりもおおむね高い割合であり、家族や先生に相談できる関係を築けている傾向が見られました。また、「自分にはいいところがある」「周りから期待や頼りにされている」と感じる割合も、多くの学年で全国よりも高くなっています。特に中学生で期待されていることを感じられているようです。

【いじめのサイン】

- 「自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることはありませんか」や「信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか」などの質問項目では、各学年とも良好な結果が出ており、全国を大きく上回っています。これは、各学校、各学年、各学級で良好な人間関係が築けているからこそです。今後も集団づくりを中心に、児童生徒が安心して過ごせる環境をつくっていきます。

【学級の絆】

- 「今のクラスがすき」と言える子どもたちを箕面市でたくさん育てられるよう指導していきます。そのために学校では、子どもたちをつなげ、互いを認め合える関係づくりに努める必要があります。子どもたちが周りの仲間の多様なもちあじを肯定的に受けとめられるようになると、みんなが安心できる居心地の良いクラスとなっていきます。また、行事など子どもたちが主体的・共同的に取り組める活動の機会を活かして、互いに絆を感じ育てていけるよう指導します。

【学級環境・規範意識・社会性】

- 友だちと思いを共有することは全国と比べて高い割合ですが、学級での役割に対する責任感や近所の人にあいさつをする社会性は、全国に比べて低い傾向です。役割や仕事に対する責任感を意識させ、役割を果たした時には褒めることにより達成感を持たせることが大切です。

【学習習慣】

- 家庭学習の習慣や、復習する学習習慣は、7年、8年で一旦、低くなる傾向があります。小学校の宿題を通して身につけた復習や予習のしかたを中学校でも継続し、自ら進んで学ぶ姿勢を育むことが大切です。

人が一生のうちで会話をする人数は3千人と言われてるんだー。これは、日本の人口でどれくらいの割合かという、0.00025%なんだ。わたしたちは、お互いを傷つけ合うために出会っているんじゃないんだよー。この奇跡的な「縁」、「つながり」は、お互いを認め合い、助け合う関係を育んでいくための「出会い」なんだよー。

